

# 香

りって  
書くのムズクね？

## 無責任四拾

花時計

三時はラベンダー  
君のくれた時計には  
何も描かれていない  
一時間ごとに  
花の香りが変わる

四時はヒヤシンス  
君が育てていた  
青い花びらに  
悲しさを感じていた  
記憶がよみがえる

その他には  
知っている香りが  
五時は優しく  
六時はとが  
七時は深く  
八時は浅く  
どこかで出会った  
いつか教えてくれた

初夏のシトロソードを振り撒けば風にたなびく真つ白なシャツ (浮島)

花を見るたびに  
香りが気になって  
香りをかぐたびに  
時間が気になって  
君のことを忘れていく

三時はラベンダー  
コーヒを淹れて  
チョコレートをひとかけら  
かじるのがいい  
四時はヒヤシンス  
ボサノヴァの中で  
何も考えず  
揺れるのがいい

香りを知らない  
時間の中で  
全ては淡々と  
進展していく  
香りを知らない

時間の後で  
三時と四時は  
常に訪れる

この香り  
あの香り  
その香り  
好きな香り  
苦手な香り  
薄い香り  
眠い香り

ラベンダーは三時  
ヒヤシンスは四時  
そしてそれ以外  
時間が巡っていく  
世界が崩れていく  
過去が襲ってくる  
未来が襲ってくる  
香りが怖い

無責任の配布先 「詩的境界線群」 <http://borderspoem.seesaa.net>

無責任40号

責任者 清水らくは

副責任者 浮島

発行日 2015年6月1日

発行元 無責任.zone